

死亡原因の上位である脳血管障害(脳卒中)には、脳の血管が詰まる脳梗塞、脳の血管が破れてしまう脳出血やくも膜下出血があります。その原因は、高血圧、高脂血症、糖尿病、肥満、喫煙、飲酒、不整脈などで、近年は高脂肪・高カロリー食による動脈硬化が進み、脳梗塞が約7割を占めるようになりました。福沢諭吉が罹った脳出血は高血圧が原因とされ、血圧の良い薬が出てきたおかげで重症化する人は減少しています。くも膜下出血は遺伝的なものも大きく、家族や親戚に罹った人がいれば要注意。また最近では、大動脈瘤の壁に内膜亀裂が生じ、中膜内に血液が入って血栓を起

こしたり破裂したりする解離性脳動脈瘤からくも膜下出血や脳梗塞を生じるケースも増えています。脳血管障害は突然発症す

## 異変を感じたら すぐに救急車を!

### 脳血管障害(脳卒中)

るのが特徴です。典型的なサインは強い頭痛、突然のしびれや麻痺、言語障害、意識障害、めまいやふらつき、視力・視野障害など。

発症後は、いち早い的確な処置で命や後遺症のリスクは軽減します。脳梗塞では血栓を溶かす薬が

開発され、発症後3時間以内に投与し血液の流れを回復させることで症状が改善し、後遺症を残さない患者さんもあります。

また、先に述べた原因を予防・改善することで発症を防ぐこともできるようになりました。大事なことは、専門機関で定期的に脳ドックを受けること。検査で古い脳梗塞の影や脳出血の跡が見つかることもしばしばです。

専門医のもとでは、動脈硬化の進行度を見ながらコレステロールや血圧の数値をコントロールしていくなど、きめ細かい予防治療が期待できます。

先生にお話を  
聞きました

大西脳神経外科病院  
理事長・院長 大西英之先生

明石市大久保町江井島

1661-1

Tel 078-938-1238

